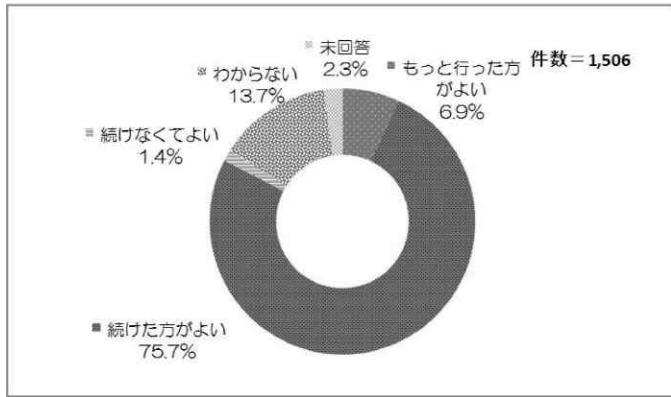


(4) 環境活動・学習事業の継続について

「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を「続けた方がよい」が75.7%

問VI-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を続けた方がよいと思いますか。(○は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は6.9%、「続けた方がよい」と答えた人の割合は75.7%である。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%、「わからぬ」と答えた人の割合は13.7%である。

「続けなくてよい」の理由としては、「必要を感じない」、「学習でなく、森作りの参加」、「効果次第」などがある。

(5) その他、自然環境保全活動、環境学習に対する自由意見

「学校教育の中に積極的に取り入れてほしい」、「事業のPRが必要」、「気軽に参加できる活動があるといい」、「大勢の人達が参加できると良い」、「体験型の学習会に参加したい」、「活動を継続した欲しい」などがある。

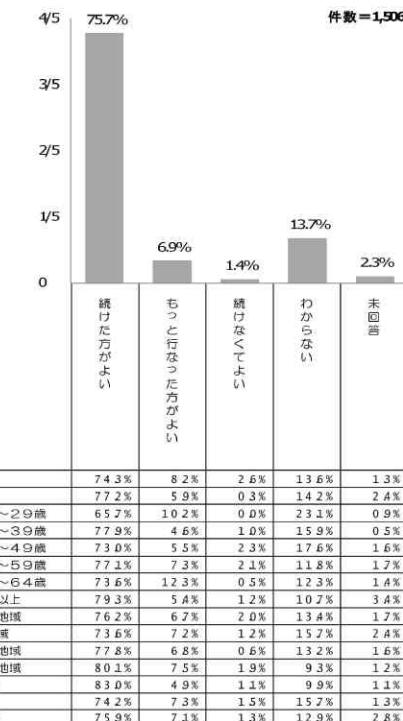
環境活動・学習事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(77.2%)が高く、男性(74.3%)が低く、2.9ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(65.7%)が低く、13.6ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、東三河地域(80.1%)が高く、尾張地域(73.6%)が低く、6.5ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(83.0%)が高く、勤め人(74.2%)が低い。



53

54

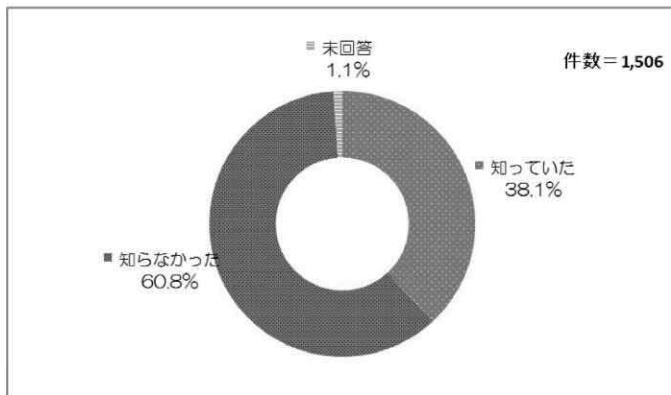
VII 木の香る学校づくり推進事業について

(1) 愛知県産木材の利用と森林整備のかかわりについて

愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを「知らなかった」が60.8%

問VII-1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。

(○は1つ)



愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを「知っていた」と答えた人の割合は38.1%である。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は60.8%と高くなっている。

※「木の香る学校づくり推進事業」とは、公立小中学校の子どもたち用に、愛知県産木材を利用した机・椅子を導入する事業。

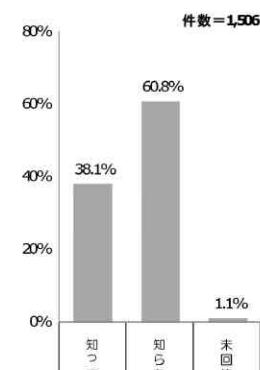
愛知県産木材の利用と森林整備のかかわりについて(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性(39.9%)が高く、女性(35.6%)が低く、4.3ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(49.6%)が高く、20代(18.5%)が低く、31.1ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、東三河地域(45.3%)が高く、尾張地域(36.9%)が低く、8.4ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、自営業(44.5%)が高く、勤め人(34.8%)が低い。



55

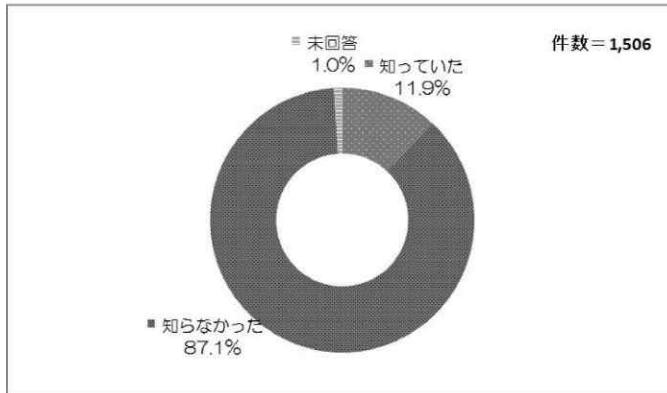
- 資料-2-14 -

56

(2) 木の香る学校づくり推進事業の認知度

木の香る学校づくり推進事業を「知らなかった」87.1%

問VII-2 木の香る学校づくり推進事業を知っていましたか。(○は1つ)



木の香る学校づくり推進事業を「知っていた」と答えた人の割合は11.9%と少ない。一方で「知らなかつた」と答えた人の割合は87.1%と高くなっている。

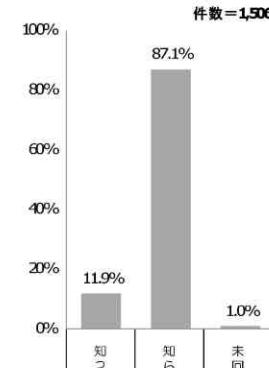
木の香る学校づくり推進事業の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、女性(13.5%)が高く、男性(10.4%)で低く、3.1ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、65歳以上(19.5%)が高く、20代(4.6%)が低く、14.9ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、西三河地域(15.1%)が高く、名古屋地域(9.7%)が低く、5.7ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職(15.8%)が高く、勤め人(8.9%)が低い。



	知っていた	知らなかった	未回答
性別	10.4%	89.0%	0.6%
年齢別	13.5%	86.4%	0.1%
地域別	4.6%	95.4%	0.0%
職業別	6.2%	93.3%	0.5%
20歳~29歳	6.2%	93.3%	0.5%
30歳~39歳	10.9%	89.1%	0.0%
40歳~49歳	9.0%	91.0%	0.0%
50歳~59歳	12.3%	87.7%	0.0%
60歳~64歳	19.5%	79.5%	1.0%
65歳以上	9.7%	89.8%	0.5%
名古屋地域	11.4%	88.4%	0.2%
尾張地域	15.1%	84.6%	0.3%
西三河地域	14.3%	85.1%	0.6%
東三河地域	11.5%	88.5%	0.0%
自営業	8.9%	91.0%	0.1%
勤め人	15.8%	83.5%	0.7%
無職			

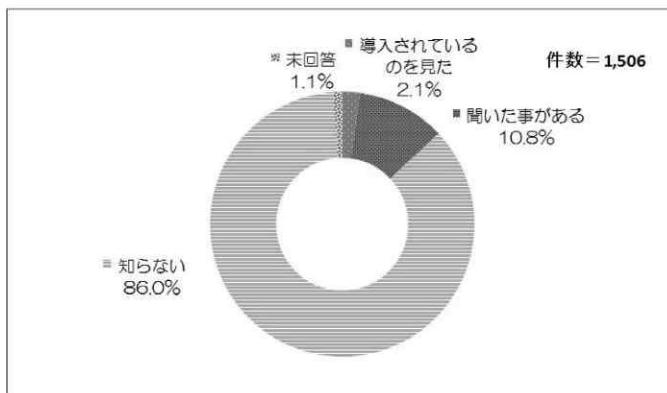
57

58

(3) 愛知県産木材製品の学校施設への導入状況

周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されている事を「知らない」が86.0%

問VII-3 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されていますか。(○は1つ)



あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が「導入されているのを見た」と答えた人の割合は2.1%、「聞いたことがある」と答えた人の割合は10.8%であるのに対し、「知らない」と答えた人の割合は86.0%と高くなっている。

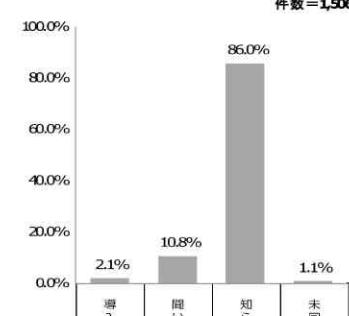
愛知県産木材製品の学校施設への導入状況(性別、年齢別、地域別、職業別)

◆性別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は、女性(3.1%)が高く、男性(1.2%)が低く、1.9ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は、40代(3.5%)が高く、「聞いたことがある」と答えた人の割合は、65歳以上(16.3%)が高い。

◆地域別で見ると、東三河地域では、「導入されているのを見た」、「聞いたことがある」と答えた人の割合とともに高く、名古屋地域、尾張地域ではともに低い傾向にある。

◆職業別で見ると、「聞いたことがある」と答えた人の割合は、自営業(13.7%)が高く、勤め人(9.2%)が低い。



	導入されているのを見た	聞いたことがある	知らない	未回答
性別	1.2%	11.8%	86.4%	0.6%
年齢別	3.1%	10.1%	85.5%	0.3%
地域別	2.8%	9.3%	88.0%	0.0%
職業別	2.1%	7.2%	90.3%	0.5%
20歳~29歳	3.5%	9.4%	87.1%	0.0%
30歳~39歳	1.4%	9.0%	89.6%	0.0%
40歳~49歳	2.4%	9.4%	88.2%	0.0%
50歳~59歳	1.7%	16.3%	80.8%	1.2%
60歳~64歳	1.0%	9.9%	88.8%	0.2%
65歳以上	1.9%	9.5%	88.0%	0.5%
名古屋地域	3.2%	12.5%	83.9%	0.3%
尾張地域	4.3%	15.5%	79.5%	0.6%
東三河地域	2.2%	13.7%	84.1%	0.0%
自営業	2.2%	9.2%	88.4%	0.1%
勤め人	2.1%	12.0%	85.0%	0.8%
無職				

59

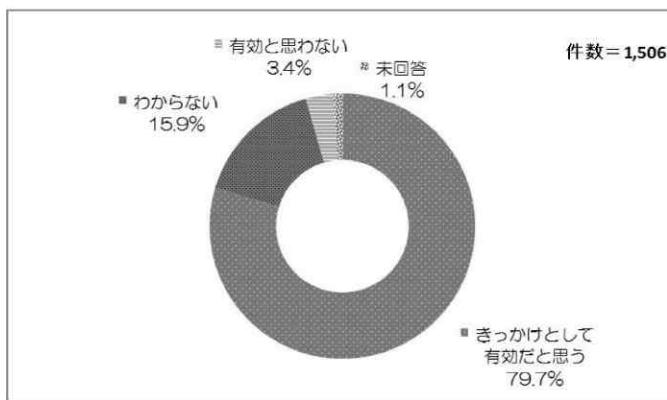
- 資料-2-15 -

60

(4) 愛知県産木材製品の導入の有効について

子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして「きっかけとして有効と思う」が79.7%

問VII-4 愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入は、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。(○は1つ)



愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入が、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知る「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は79.7%と高くなっている。一方で「わからない」と答えた人の割合は15.9%、「有効と思わない」と答えた人の割合は3.4%である。

「有効と思わない」の理由としては、「学習の中で説明が必要」、「子供はあまり気にしないと思う」、「現状のイスの方が価格・機能が良い」などがある。

愛知県産木材製品の導入の有効について（性別、年齢別、地域別、職業別）

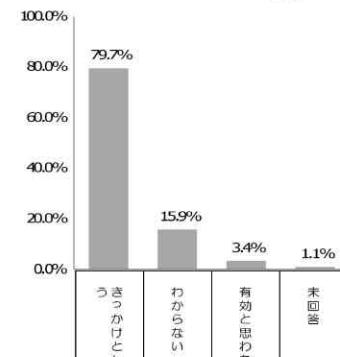
◆性別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、女性(84.9%)が高く、男性(75.1%)が低く、9.8ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、65歳以上(84.9%)が高く、20代(69.4%)が低く、15.5ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、東三河地域(83.2%)が高く、名古屋地域(76.7%)が低く、6.5ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は、無職(82.2%)が高く、勤め人(78.4%)が低い。

件数=1,506



性別	男性	75.1%	19.7%	4.8%	0.4%
	女性	84.9%	12.6%	2.2%	0.4%
年齢別	20歳～29歳	69.4%	22.2%	8.3%	0.0%
	30歳～39歳	75.4%	19.0%	4.6%	1.0%
	40歳～49歳	80.1%	16.4%	3.5%	0.0%
	50歳～59歳	80.2%	14.2%	5.6%	0.0%
	60歳～64歳	81.6%	16.5%	1.4%	0.5%
	65歳以上	84.9%	13.4%	1.0%	0.7%
地域別	名古屋地域	76.7%	17.5%	5.5%	0.2%
	尾張地域	81.8%	14.3%	2.9%	0.5%
	西三河地域	80.2%	16.2%	2.3%	0.3%
	東三河地域	83.2%	13.7%	2.5%	0.6%
職業別	自営業	81.9%	16.5%	1.6%	0.0%
	勤め人	78.4%	16.2%	4.7%	0.1%
	無職	82.2%	14.5%	2.5%	0.8%

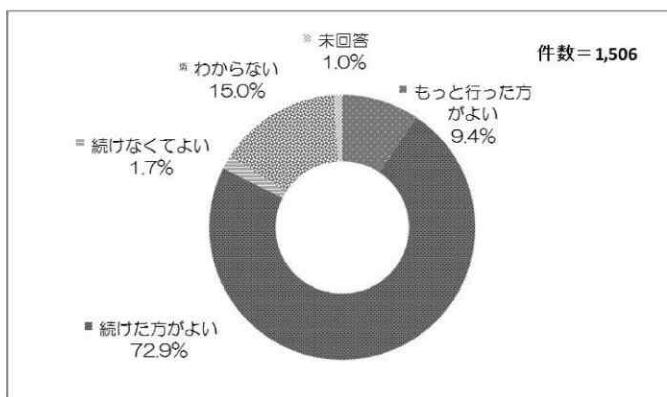
61

62

(5) 木の香る学校づくり推進事業の継続について

「木の香る学校づくり推進事業」を「続けた方がよい」が72.9%

問VII-5 あいち森と緑づくり事業で今後も「木の香る学校づくり推進事業」を続けた方がよいと思いますか。(○は1つ)



あいち森と緑づくり事業で「木の香る学校づくり推進事業」を「もっと行った方がよい」と答えた人の割合は9.4%、「続けた方がよい」と答えた人の割合は72.9%と高くなっている。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.7%、「わからない」と答えた人の割合は15.0%である。

「続けなくてよい」の理由としては、「費用がかかりすぎる」、「効果がわからない」、「公共施設で木材を活用した方がよい」などがある。

木の香る学校づくり推進事業の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）

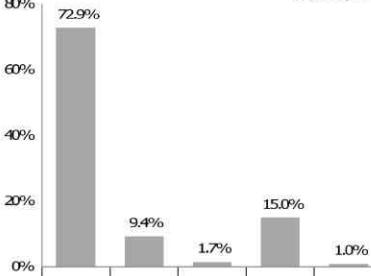
◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(76.3%)が高く、男性(69.8%)が低く、6.5ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(64.8%)が低く、14.5ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、西三河地域(76.2%)が高く、名古屋地域(72.2%)が低く、4.0ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(79.7%)が高く、勤め人(70.7%)が低い。

件数=1,506



性別	男性	69.8%	9.2%	3.2%	17.3%	0.4%
	女性	76.3%	10.0%	0.3%	13.2%	0.3%
年齢別	20歳～29歳	64.8%	7.4%	0.9%	26.9%	0.0%
	30歳～39歳	69.2%	12.3%	1.5%	16.4%	0.5%
	40歳～49歳	70.7%	10.5%	2.0%	16.8%	0.0%
	50歳～59歳	70.8%	11.1%	2.8%	15.3%	0.0%
	60歳～64歳	75.5%	10.4%	0.5%	13.7%	0.0%
	65歳以上	79.3%	7.1%	1.5%	11.2%	1.0%
地域別	名古屋地域	72.2%	9.2%	2.5%	15.9%	0.2%
	尾張地域	72.6%	9.1%	1.3%	16.7%	0.3%
	西三河地域	76.2%	9.3%	0.6%	13.5%	0.3%
	東三河地域	73.3%	13.7%	2.5%	9.9%	0.6%
職業別	自営業	79.7%	6.0%	1.6%	12.6%	0.0%
	勤め人	70.7%	11.0%	1.8%	16.4%	0.1%
	無職	74.4%	9.2%	1.5%	14.2%	0.7%

63

64

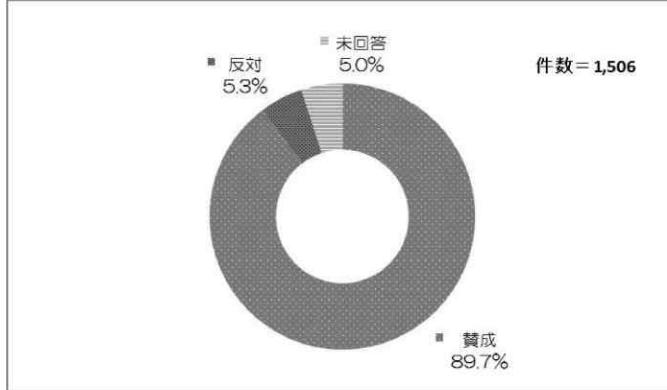
Ⅳ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(1) 「あいち森と緑づくり事業」の継続について

「あいち森と緑づくり事業」の継続について「賛成」89.7%

問Ⅳ-1 県内には、手入れが必要で、様々な公益的機能の低下が心配される森と緑がまだ多く残されています。愛知県は「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取り組みを続けたいと考えていますが、この取り組みの継続についてどのように思いますか。

(○は1つ)



「あいち森と緑づくり税及び事業」の継続について「賛成」と答えた人の割合は89.7%と高くなっている。一方で「反対」と答えた人の割合は5.3%である。

「反対」の理由としては、「増税に反対」、「新たな税は必要ない」、「税金で行うことではない」、「税金の使い道が不明」、「効果がわからない」などがある。

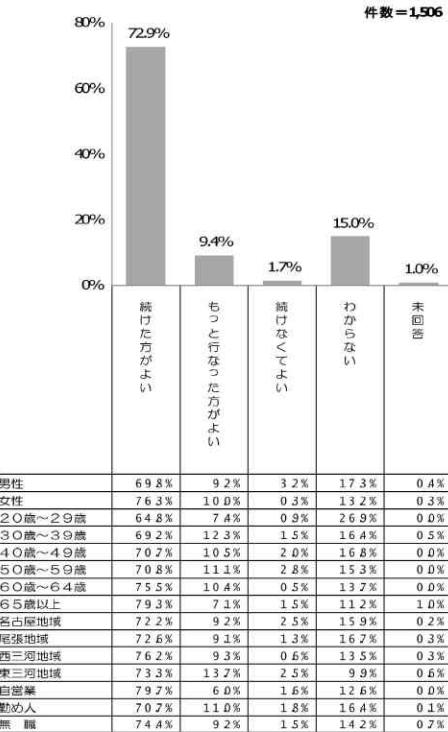
木の香る学校づくり推進事業の経緯について（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、女性(76.3%)が高く、男性(69.8%)が低く、6.5ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、65歳以上(79.3%)が高く、20代(64.8%)が低く、14.5ポイントの差がある。

◆地域別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、西三河地域(76.2%)が高く、名古屋地域(72.2%)が低く、4.0ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「続けた方がよい」と答えた人の割合は、自営業(79.7%)が高く、勤め人(70.2%)が低い。



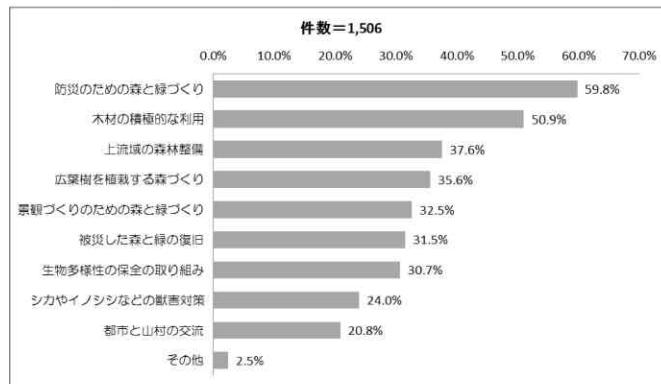
65

66

(2) 「あいち森と緑づくり事業」の新たな取組について

「防災のための森と緑づくり」が59.8%

問Ⅳ-2 「あいち森と緑づくり税」を活用して、今後取り組みを検討した方がよいと思われるものはありませんか。（複数回答可）



「あいち森と緑づくり税」を活用した取組で、検討した方がよいものとして、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は59.8%と最も高く、次いで「木材の積極的な利用」を回答した人の割合が50.9%、「上流域の森林整備」と回答した人の割合が37.6%の順にある。

「その他」の具体的な案としては、「生活環境の場への種樹」、「子供を対象とした活動」などがある。

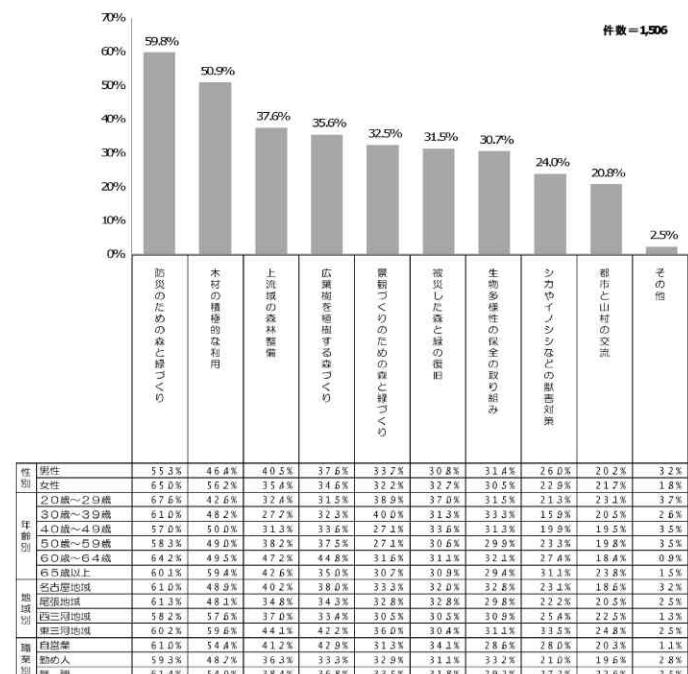
「あいち森と緑づくり事業」の新たな取り組みについて（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、回答の順に大きな差はみられないが、「防災のための森づくり」、「木材の積極的な利用」と答えた人の割合は、女性は男性より10ポイント程高い。

◆年齢別で見ると、20代、30代、40代で全体で3番目の「上流域の森林整備」と答えた人の割合が5~7番目になっており、全体で5番目の「景観づくりのための森と緑づくり」と答えた人の割合が3番目になっている。

◆地域別で見ると、回答や順は同傾向だが、全体で1番目の「防災のための森と緑づくり」と2番目の「木材の積極的な利用」と答えた人の割合について、名古屋地域、尾張地域に比べ西三河地域、東三河地域でポイント差が小さい。

◆職業別で見ると、勤め人では、全体で7番目の「生物多様性の保全の取り組み」と答えた人の割合が5番目になっている。



67

- 資料-2-17 -

68